

公的年金保険制度を題材としたモデル授業案・標準型（一般的な授業）

| | | |
|--------|---|---|
| 授業スタイル | 説明+個人ワーク+グループワーク | |
| 授業の目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・人生には様々なリスクが潜んでいることを理解する。 ・社会保障がリスクに対して国民全体で支え合う制度であることを理解する。 ・各自が必要と考える社会保障制度について考えを整理し、意見を構築する。 | |
| 学習内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・人生には様々なリスクが存在すること・公的年金保険制度の仕組み・公的年金制度と私的年金制度の役割・公的年金制度と日本の人口構造の関連 | |
| 授業概要 | 1時間目 | <p>導入：人生100年時代の「長生きによる経済的リスク」について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2050年の平均寿命等から「長生きによる経済的リスク」のリスクを考えさせる。 <p>展開：①公的年金保険について理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老齢・障害・遺族年金があり、高齢者だけのものではないこと。 ・加入開始年齢・被保険者区分（第一号・第二号） <p>②公的年金の仕組みと特徴を理解し、その課題と解決策を考察する。 [グループワーク]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な公的年金を実現するための課題・解決案をワークシートにまとめる。 ・まとめの内容は「国民皆保険・世代間扶養・社会保険方式・マクロ経済スライド形式」であること。 ・その他長期化する高齢期の経済基盤の充実を図るため、短時間労働者に対する被用者保険の適用拡大、受給開始期の選択肢の拡大などに取り組んでいることを知る。 <p>まとめ：日本の人口構造が公的年金の課題に関連していることを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な公的年金制度を実現するためには国民全体の問題として考える必要がある。 |
| | 2時間目 | <p>導入：自分の老後にどのように過ごしたいかを考える。</p> <p>展開：①公的年金と私的年金保険について理解する。 [個人ワーク]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・導入でイメージした老後の生活費をどのように賄っていけばよいかを考える。 ・公的年金制度の役割・強みと、政府が用意する支援策（企業年金・NISA等）の組み合わせなどを考える。 <p>②老後のための社会保障制度はどうあるべきかを考察する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以下のどのような仕組みを持つ国に住みたいか？ [グループワーク] <p>A：全ての国民に従来所得の8割を保障するが、現役時代の支払いは多い制度（共助）</p> <p>B：全ての国民に従来所得の5割は保障されるが、残りはある程度自分で備えるため、現役時代に自分の意思で支払いをコントロールできる制度（共助&自助）</p> <p>C：全ての国民が一切の保障と支払いがなく、自己責任と伴う制度（自助）</p> <p>D：第四の道</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高福祉・高負担、低福祉・低負担の4章限の図などを示し、低負担・高福祉は財政上難しいことを理解する <p>まとめ：社会保障は人生におけるリスクに対する社会全体の支え合いであり、世代や立場を超えて関心を持つことが重要であることを理解する。</p> |

社会保障教育のモデル授業案について

公的年金保険制度を題材としたモデル授業案・熟慮型（じっくりと深く考える授業）

| | | |
|------------------------------------|--|---|
| 授業スタイル | グループワーク | |
| 授業の目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・人生、とくに老後の生活にはどのようなリスクが潜んでいるのかを理解する。 ・リスクに対してどのような考え方があるのかを理解する。 ・支え合うというのはどういうことなのか、またその周辺にある課題について気付く。 | |
| 学習内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・人生には様々なリスクが存在すること・公的年金保険制度の仕組み・公的年金制度と日本の人口構造の関連・立場によって様々な意見が有ること | |
| 授業概要 | 1 時間 目 | <p>[タイトル：年金をどうするのか？ 政策を選んでみよう！]</p> <p>導 入：設定する国（サクラ国）の内容を具体的に理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口構成、主な産業、通貨、物価、財政赤字 等 <p>展 開：①生徒が担うキャラクター（高齢者・労働者）を人口構成に応じて設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者（無職・貯蓄無し・年金額・支出額）と労働者（年収額・支出額（保険料含む））に役割を分ける。 ②高齢者の生活を支える仕組みを理解する。 <ul style="list-style-type: none"> ・長生きした際に自分の力だけで生活することが難しいことを理解する。 ・世代間扶養の仕組み（若い世代が保険料を支払っている）を理解する。 ・カードを見て、架空の国では若者がどれくらい保険料を負担しなければならないかを計算する。 ・「保険料を毎月30万円納める」ことについて「YES/NO」で投票し、投票結果を共有し意見を述べる。 ③保険料負担方法についてどのような考え方があり、工夫が必要なのかを考える。 <p>まとめ：サクラ国の年金制度の問題点や考えるべき点を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保険料を納める必要性・少子高齢化が極端に進んでいること・高齢者と若者それぞれの意見が有ること 等 |
| ※架空の国（サクラ国）を設定し、グループで年金政策を考えていく内容。 | 2 時間 目 | <p>[タイトル：サクラ国を救出せよ！]</p> <p>導 入：前の時間の復習と本時の目標の確認</p> <p>展 開：①サクラ国と似た国（＝日本）について分析を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の現状（家族構成の変化・賦課方式と積み立て方式・賦課方式の課題 等）を分析する。 ②日本の現状を参考にしてサクラ国の新たな政策を考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・サクラ国の何が問題なのかを明らかにする。 ・高齢者と若者の意見対立をどのように公正に話し合いを進めることができるかを考える。 ・若者・高齢者双方に向けたメッセージを作成する。 ③サクラ国の政策選択を終え、日本の若者にメッセージを作成する。 <p>まとめ：サクラ国の政策の検討を通して、日本の社会保障を利己的な視点と利他的な視点の両面から考えたことを理解する。</p> |